



特集

メディカルカフェミニ講義

なぜメディカルカフェにミニ講義を？

がん患者さんやそのご家族の「がんに関するいろいろな情報が欲しい」という思いに応えるため、また、「他のがん患者さんと話したい」「次回の通院までの間、話せる場所がない」「でも、いきなり患者会やがんサロンに行くのはハードルが高い」という方でも講義形式であれば参加しやすいのではないかと、とのスタッフの思いから、比較的皆さんが参加しやすいような午後の早めの時間にミニ講義を設けることとなりました。

私にとってのミニ講義

メディカルカフェに参加され、ミニ講義講師としてもご協力下さっているお二人から、ミニ講義について思うことを寄せていただきました！



ヨーガ講師
山田きえさん

私は今「心と身体にやさしいヨーガセラピー」のミニ講座を担当させていただいています。今は講師の一人ですが、以前は患者としてメディカルカフェに参加していました。7年前に乳がんが見つかって、済生会病院で治療を受けたのです。実はその前にも悪性リンパ腫を経験しており、2度目のがんを告げられた時は、言葉にならないほどの恐怖をおぼえました。

手術が無事に終わった後、毎日インターネットで様々な情報の中をさまよっているとき、メディカルカフェで聞く同じ病気の体験者の言葉が、強く私の心に響きました。メディカルカフェは私の大きな支えの一つでした。

そのメディカルカフェで、ヨーガを通じてみなさんにお返しができることを、とてもうれしく思っています。私はがんの経験を通してヨーガと出会いました。手術の傷と現実に向き合いながら、ヨーガは少しずつ、新しい私のからだを整え、こころを満たしてってくれたのです。

こころとからだはつながっています。からだの声に耳をすまし、良い悪いの判断をせず、今をありのままにうけとる練習を、みなさんとシェアしていきたいと考えています。



グリーンケア福井
山崎純子さん

私が乳癌と診断されたのはカフェのスタートと同じ年、2011年11月でした。母を若くして癌で亡くしているので告知も「そうですか」と受け入れました。しかし治療は辛く脱毛も精神的苦痛でした。入院中タオルケア帽子を縫っていると皆さんが共感してくれ、気持ちが沈んでいる時も明るい柄を選び一緒に作り始めました。それがケア帽子活動の原点です。多くの患者さんに喜んで頂くためにボランティア活動として登録し、講師の資格を得るため岩手ホスピスに行き学びました。

メディカルカフェでも2015年よりミニ講義実習の場を設けて頂き、完成した帽子を被る参加者の方の笑顔が私にとっても嬉しいです。何時も陰で支えてくれるスタッフの方に感謝しております。多彩なサポート・催し物はメディカルカフェの魅力で、全国的にも院内での取り組みは少ないです。

更に20年を目指してこれからも患者・家族と医療者が一体となり交流して病と立ち向かう知恵を育んでいきたいと思っています。

メディカルカフェのあゆみ ~Part3~

この10年のミニ講義を振り返る



アピランス(外見)について、食事と栄養、就労支援、利用できる制度について、音楽療法などなど…
福井県済生会病院の専門スタッフによる講義を行いました。



人形劇、タオルケア帽子の作り方、ヨーガ、手編み乳房パッドの作り方などなど…
患者さんが癒しや学びの場の提供して下さいました。



外部の方もボランティアとして
いろいろな情報を提供して下さいました。

ミニ講義の内容は、年度ごとに、がん相談支援センターへ寄せられた相談で多かったものをピックアップしたり、ピアサポーターさんからもご意見やご提案をいただいたりして、メディカルカフェ運営スタッフで相談して決定しています。
こういう講義もしてほしい、など、ご要望がございましたら、メディカルカフェスタッフまでお寄せ下さい。ミニ講義についてはホームページでご覧いただけます。 <https://www.fukui-saiseikai.com/>



メディカルカフェのご案内

日時： 毎月第1金曜日
[午前]10:00~12:00 ※12:00~13:00 休憩
[午後]13:00~15:00 ※13:00~ ミニ講義
場所： 福井県済生会病院 南館1階
メディカル情報サロン

11月6日のミニ講義

「みんなで語ろう」



『がん患者ピアサポートふくい』の皆さんと日頃困っていることなど、悩みや不安を話してみませんか？



参加
無料

メディカルカフェ、がん哲学外来のお問い合わせ先
がん相談支援センター(集学的がん診療センター)
TEL (0776) 28-1212<直通>